環境情報誌

AOYAGI ZZZ

第84号

2021 年 7 月 7 日 青柳工業株式会社 環境会議

定期自己評価の結果をお知らせします

7月6日、本年度の自己評価を行いました。自己評価は環境の内部監査です。環境活動の進捗状況を含め、評価していただきました。大きな指摘としては、実行委員をグループ代表から工場・サイトの代表として扱うようになりましたが、そうした規定が不明確であると指摘され、次回フォローアップまでに、組織図または組織表で明確にすることにしました。また、環境活動文書が専門的な言葉が多く、一般にわかりにくいと指摘されました。8月3日のKES審査でこうした意見があることを伝え、順次、マニュアルを変えていこうと思います。それに伴い、詳しく具体的に記載した手順書も、見直し、廃棄を検討して行きます。評価員の意見として、コロナ禍で人との接触が少なくなる中、意見を言える立場の人だけの発言で動いていないか、手をあげ辛い人達の意見を、よりくみ取る仕組みを考えて欲しいと提案がされました。今後の環境会議の審議の中で検討して行きます。良い事例として美化活動など、効果が出ていると評価されました。新規採用社員対象の研修会を実施しました

6月23、24、25日、中途で新規採用された皆さんを対象に、環境の話しをさせていただきました。一般社員の皆さんにも、あらためてお願いします。この機会に環境宣言文を見てください。できれば5項目の目標のうち、気になるものを一つ覚えてください。この環境情報誌など、環境会議が発行する文書に、必ず目を通してください。リサイクルを進めている紙類は、分別をお願いします。大きく分けると、新聞紙、ダンボール、OA用紙、その他雑紙と呼ばれる広告類、厚紙、部品箱やテッシュペーパーの箱、菓子箱などがこれに当たります。こうした紙類は、ごみ箱に廃棄せず、分別して紙を回収する容器、またはダンボールと一緒に回収置場においてください。お願いします。

エアキャップ再利用を検討

今年も、一般廃棄物を減らす活動をしています。皆さんの意見を参考にして、今までごみとして 捨てていたものを、もう一度利用したり、リサイクルに回したりできないか検討しています。前回は、小さい 部品箱を積極的にリサイクルしているグループを紹介しました。今回は、客先に運搬するときの緩衝用と して使用するエアキャップを繰り返し使うために、使用している先に戻す工夫をしているグループがあり 少量ですが減量につなげています。エアキャップも上手に保管できれば、リユースの可能性があり、 従来から回収していましたが、時間とともに気持ちが薄れています。リユースを考え直しましょう。

気象変動の緩和について 第3回「熱海を襲った土砂災害」

7月3日、温泉で有名な熱海が、突然土石流に襲われ、多くの家屋と人命までも失ってしまいました。これは、上空に居座る活発な梅雨前線の影響で、大量の雨が原因のようです。昨年は熊本で同じように災害が発生していて、気象庁も、避難命令を発令し、緊急避難や注意を呼びかけていましたが、予想外のところで土石流が発生してしまいました。この季節になると、毎年のように災害が発生しますが避けることはできないのでしょうか。避けることはできなくとも、ある程度予測はできます。ハザードマップ活用が決め手になります。自分の住んでいる場所がどのような災害に弱いのか、確認しておきましょう。

最高責任者のコメント ~ カーボンオフセット ~

世界的企業である Apple (アップル)社が2030年までに販売されるすべてのデバイスで、気候への 影響をゼロにすると宣言した。つまり生産工程で使用するエネルギー等は、すべての CO-排出を なくすことを意味している。未だに火力発電に頼る日本の現状からは非常に厳しい宣言だ。電気を 含め、今後数年の間に、大きな変化があると思われる。環境に対する知識習得を継続すること。

今月の環境目標進捗状況

今月の環境目標も、 すべて達成できました!



	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量削減(kwh)	25,422	20,431	E	67,919	50,662	134%	^
一般廃棄物減量(件数)	1	1	3	1	1	100%	^
エコキャッブ回収(個数)	1,273	1,338	譲	3,891	4,050	104%	^
美化活動実施(回数)	1	1	違	1	1	100%	^
環境教育実行(回数)		_			_		









